

評価項目配点表

評価項目	提案書記載事項	評価の視点	配点
基本方針	センター運営業務に係る基本方針	・センター運営業務の目的を理解し、利用者本位の基本方針を有したうえで、責任をもって意欲的に業務に取り組もうとしているか。	5
センターの運営	通年及び日々の業務のスケジュール管理の体制、方法など	・通年及び日々の業務について、スケジュールを管理しながら、計画的かつ着実に運営しようとしているか。	5
	開設日数、開設時間及び開設曜日など	・開設日数、開設時間及び開設曜日などが、利用者に配慮され、適切かつ十分に設定されているか。	10
	レイアウト図	・利用者のプライバシー等に配慮した（個別相談ができる）レイアウトになっているか。	5
相談支援等	「思春期、妊娠・出産、不妊・不育等に関する専門的な相談支援」の実施方法	・不妊カウンセラー等による相談支援は、利用者の状況に応じた相談内容に対応ができ、センター開設時は常に相談受け付けが可能となっているか。 ・医師等による相談支援は、適切な頻度での実施となっているか。 ・必要に応じ、他の相談機関と連携可能な体制となっているか。 ・適切な相談管理方法となっているか。	15
	「プレコンセプションケアに関する講演会」の実施方法	・本事業の目的に沿った内容・回数で、利用者が広く参加できる実施方法となっているか。 ・効果的な効果測定ができているか。	5
	「相談員の研修養成」の実施方法	・相談員が、相談支援に必要な専門的知識や最新の医療情報を習得できる実施方法となっているか。	5
	「男女の性や生殖、妊娠・出産、不妊治療等に関する普及啓発」の実施方法	・ホームページ及びリーフレットを作成のうえ、効果的な普及啓発が実施される方法となっているか。	10
	「児童・生徒向けの性に関する教育等を行う専門家等に対する研修」の実施方法	・国や関係学会等の指針等を踏まえ、性に関する指導に関する正しい知識等の研修が実施される方法となっているか。	5
	「不妊症・不育症に関する心理的支援」の実施方法	・専用カウンセラーによる心理的支援は、利用者の状況に応じた内容（不妊・不育や流産・死産等）に対応ができ、適切な頻度での実施となっているか。 ・ピア・サポート活動への支援は、利用者の状況（不妊・不育や流産・死産等）に配慮した実施方法であり、適切な頻度での実施となっているか。	10
実施体制	人員体制の整備	・実施体制が明確に示され、かつ適切な人員配置が行われているか。	10
	相談員の要件	・相談内容（不妊カウンセラー等による相談支援、医師等による相談支援、専門カウンセラーによる心理的支援）に応じて、必要な能力（職種、業務実績など）を有する相談員の配置となっているか。	10
見積価格	見積額及びその内訳	・5点を満点とし、以下のとおり算出 点数 = (1 - 提案価格 / 提案限度価格) × 5	5
合 計			100